

生物部 AITサイエンス大賞にて「優秀賞」を受賞

11月5日(土)に愛知工業大学で行われた『第15回AITサイエンス大賞』に参加しました。「AITサイエンス大賞」では「論文」(事前提出)・「ステージ発表」・「パネル展示発表」を大学の先生により総合審査されます。

生物部では現在3テーマの研究を進めており、それぞれのグループが大会にエントリーしました。

午前中は各グループともに制限時間5分のステージ発表を無事に終了。午後のパネル展示では、これまでの成果を発表すると同時に、大学の先生方から今後の研究におけるアドバイスを受けたり、他校の生徒と意見交換をしたりすることができました。

【大会結果】

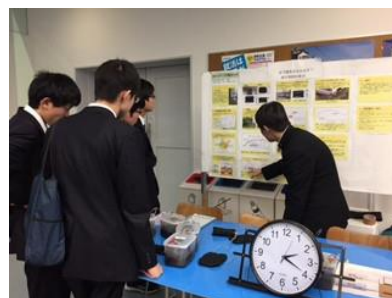
① ものづくり部門 優秀賞

「はたらけ！ドロ電池☆彡」

(昨年度から始めた土の中の微生物による発電の研究)

瑞陵高校の土を容器に入れ、その中に自作の電極を設置することで電池が完成します。

現在、生物教室の時計は、このドロ電池で動いています。今後は電池のコンパクト化などを目指します。



② 社会科学・地域づくり部門 奨励賞

「あったかホカホカ発酵熱」

(放置竹林伐採後の竹粉などを利用して熱生産)

瑞陵高校の土、米ぬか、竹の粉を入れることにより、60℃の熱を発生させることができました。今後は「どこでも給湯器」や発酵熱を利用した発電を目指しています。



③ 自然科学部門 努力賞

「ピカッと栽培！」

(植物栽培にLEDを利用した研究)

LEDの波長が植物の成長に及ぼす影響を調べています。

美味しい瑞陵トマトのブランド化を目指しています。

